

家庭科の学習内容は、実生活に役立つもののはずだが、実際には、学校で学習したことを家庭で実践できず、生活であまり生かされていない。

大切にしたい力 < 生活に生かす力（「食」を通して） >

| 学 習 期    | 内 容  | 内 容 項 目   | 身につけさせたい力   | 具 体 例   | カリキュラム改善の視点   |
|----------|--|---|---|---|---|
| I<br>期   | 小学校第1学年<br>～<br>小学校第4学年  | 楽しく食べる、配膳、片付け（給食指導）<br>望ましい食習慣の形成（学級活動）<br>規則正しい生活（保健）  |   |   | ◎ふり返りを活かし、家でもやれるような活動を取り入れる。<br><br>◎続けてやれるような指導をする。      |
|          | II<br>期  | 小学校第5学年   | できる仕事から始めよう<br>・家族団らん（お茶、果物）<br>・ゆでる調理（ゆで野菜、ゆで卵、包丁の使い方）<br>おいしいね 毎日の食事<br>・ごはんのみそ汁<br>・栄養素の働き<br>・調理の意味   | ・ゆでる調理<br>・調理用具やこんろの使い方<br>・ごはんのみそ汁の調理<br>・五大栄養素の種類と働き<br>・食品の3つのグループ分け   | ・家族の生活の仕方を調べ、関心をもつ。<br>・夏休みに家で一品つくる課題を出す。課題は、レポートにして提出する。 |
| 小学校第6学年  | 見直そう 食事と生活のリズム<br>・朝食のとり方<br>・朝食のおかず（野菜いため、いり卵）<br>・食事の働き<br>まかせてね 今日の食事<br>・1食分の献立<br>・家族が喜ぶ食事<br>（マカロニポリタン、いどりきんぴら、ジャーマンポテト） | ・いためる調理<br>・栄養を考えた食事のとり方<br>・基礎的・基本的な知識<br>・食事の役割<br>・楽しく食事するためのマナー   | ・自分の生活のリズムを見直す。<br>・夏休みに家で一品つくる課題を出す。課題は、レポートにして提出する。   |   |   |
| III<br>期 | 中学校第1学年<br>～<br>中学校第3学年  | 食生活と自立<br>・野菜について（調理・栄養）<br>・肉について（調理・栄養）<br>・魚について（調理・栄養）<br>・生鮮・加工食品について（加工食品を使った調理も含む）<br>・食品の選択<br>・1日分の献立を考えよう<br>・お弁当を作ろう | ・基礎的な日常食の調理技能<br>・食品や調理用具等の適切な管理<br>・栄養の特徴についての知識<br>・食品の品質を見分ける。<br>・用途に応じ選択できる。<br>・一日に必要な食品の種類と概量の理解<br>・食生活に関心を持ち、課題をもって、工夫・計画・実践を行うことができる。 | ・調理体験を行い、器具の使い方や片付け方も学習する。<br>・五大栄養素の学習をそれぞれの実習に絡めて行う。<br>・実際に2つの食品を用意し、選択時のポイントを理解する。<br>・献立の作成を行う。<br>・お弁当を課題とし、各自レポートにまとめさせる。<br>※家庭での実践につなげるために…<br>・夏休みに、朝ごはんレポートや、お手伝いレポートを課題とする。 |   |